

重症集中ケア

選 択

開講年次：3 年次後期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：重症集中ケアを必要とする患者の身体的、心理的、社会的側面を理解し、患者とその家族に適切な看護援助をするために、集中治療看護の概念、沿革、集中治療を受ける患者にみられる特徴的な病態とその治療・ケアの方法について学ぶ。

- 到達目標**：①集中治療と看護の歴史の変遷、特徴、役割を理解する。
②重症集中ケアが必要な患者の身体的・心理的・社会的特徴および家族の特徴を理解する。
③集中治療を必要とする患者の病態と患者・家族への看護援助方法を理解する。
④集中治療領域における倫理的課題について考察する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎菅原 美樹・高橋 正浩

■**授業計画・内容**：

第 1 回 重症集中ケア概論

集中治療と看護の歴史の変遷／集中治療が必要な患者・家族の特徴／重症集中ケアの特徴と役割

第 2 回 重症集中ケアに必要な基本的看護技術

第 3 回 脳神経障害に対する集中治療と看護ケア

第 4 回 急性呼吸障害に対する集中治療と看護ケア

第 5 回 循環障害に対する集中治療と看護ケア

第 6 回 集中治療中の患者のリハビリテーション

第 7 回 集中治療領域における倫理的課題

第 8 回 まとめ 課題学習

■**教科書**：教科書は使用せず、毎回資料を配布します。

- 参考文献**：『クリティカルケア看護論』／池松裕子編集（ヌーヴェルヒロカワ）
『クリティカルケア看護Ⅰ』／池松裕子編著（メヂカルフレンド社）
『クリティカルケア看護Ⅱ』／池松裕子編著（メヂカルフレンド社）
『クリティカルケア看護 理論と臨床への応用』／寺町優子他編集（日本看護協会出版会）

■**成績評価基準と方法**：定期試験80%、課題20%

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
定期試験	◎	◎	◎	○	60%以上正解していること	80
課題				◎	課題の提出と内容の適切性	20
出席					2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：入院日数の短縮化や医療技術の高度化・進歩によって、集中治療を必要とする患者は集中治療室以外の様々な場所で治療を受ける機会が多くなっています。こうした現状を踏まえ、集中治療を受ける患者・家族の看護に必要な基礎知識を提供します。講義では急性・重症患者看護専門看護師をゲストスピーカーに迎え、臨床現場のリアリティのある看護を学べます。